

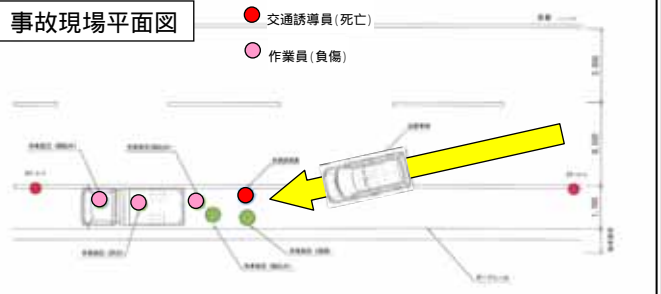
管内でもらい事故による死亡事故が発生



< 事故概要 >

- 路肩部で刈り草の積み込み作業を行っていたところに、前方不注意と見られる第三者乗用車が突っ込み、交通誘導員をはね、作業員と接触し、刈り草を積み込むため停車中の 2t ダンプトラックに衝突した。
- 交通誘導員は衝突によりダンプトラックの荷台に飛ばされ、頭部打撲等により死亡、作業員 3 名が打撲を負った。

事故現場平面図



事故現場写真



事故現場写真

< 事故防止対策案 >

- 危険を感じたら、すぐに逃げられるように備える。
- 衝撃吸収ライフジャケットを着用する等の防護を行う。
- 視認性の向上等によるドライバーに対する **気付けせる工夫** を講じる。(写真参考)

気付けせる工夫(参考)



横断幕の設置



大型掲示板



高い位置の大型電光掲示板



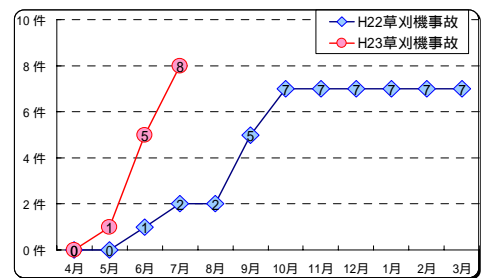
バルーン照明

草刈り作業における事故が続発!!

「あんぜん」6月号でも注意喚起しましたが、草刈り作業における事故が6月以降も続発しております。

既に昨年一年間の発生件数を超える状況となっており、近畿地方整備局としても管内の監督職員に対して、草刈り事故について注意喚起する文書を出し、関係者への注意を促しております。

受注者の現場担当者も、今一度、現地の再確認、作業手順の点検、安全教育活動での注意喚起を徹底し、事故防止に努めてください。



草刈り機による事故件数(H22・H23.7.25時点比較)

ケーブル切断事故



跨線橋のセンサーケーブルを切断し、特急電車2本に遅れが発生

< 事故概要 >

15時頃除草作業を実施した当該箇所において、跨線橋の車両転落感知センサーの異常からケーブル切断が判明したと JR 西日本から16時40頃に連絡があった。

16時50頃配線を繋いでセンサーを復旧したが、この影響で特急電車2本に最大45分の遅れが生じた。

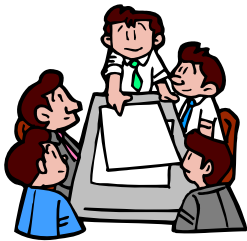
< 事故防止対策案 >

- 事前調査を十分に実施する。
- 施設管理者との事前協議を実施する。
- ケーブル周辺は鎌による手刈りを行う。

(裏面につづく)

近畿地区建設工事安全対策推進協議会の取り組み

協議会では、構成機関全体で「架空線事故防止」を共通の取り組みテーマに定め、近畿一円で架空線事故防止に取り組んでいます。



近畿地区建設工事安全対策推進協議会は、直接工事を施工する建設業界と近畿地方整備局において、労働災害の防止に取り組むことを行うことを目的として、意見交換や合同パトロール等の取り組みを実施しています。

今年度は新たな取り組みとして、「**架空線事故防止**」を共通の取り組みテーマに、「**架空線の明示**」を具体的な防止対策に定め、周知徹底することにより、近畿一円における「架空線事故」の防止を目指します。

「架空線事故防止」に向けた具体的な取り組み内容

傘下の会員各社への周知

各部会毎に傘下の会員各社に「架空線事故防止」が協議会共通の取り組みテーマであることと具体的な事故防止対策として「架空線の明示」を各現場に即して実施するよう周知徹底する。

事故発生時のアンケート調査

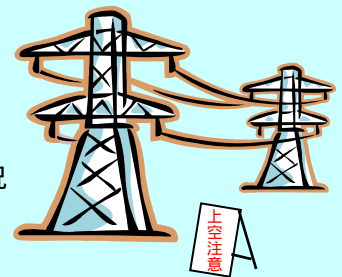
架空線に係る事故発生時には、アンケート調査票（部会毎に事前配布）に必要事項を記入の上「事務局（近畿地方整備局企画部技術調査課）」へ報告する。

フォローアップ

各部会において、安全協議会、パトロール、講習会等を通じて会員各社に本取り組みを周知・徹底するとともに、「架空線事故防止」にかかる優良事例を収集する。

分析・評価

アンケート結果及び平成23年度の近畿地方整備局管内の事故発生状況から取り組みの効果を事務局において検証するとともに、優良事例を協議会内において水平展開する。



(事例) のぼり



(事例) 看板・目印旗



(事例) 看板・防護用ゲート



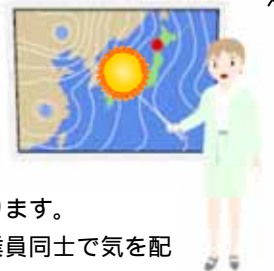
近畿地区建設工事安全対策推進協議会メンバー

- (社) 日本建設業連合会関西支部
- (社) 日本道路建設業協会関西支部
- (社) 日本橋梁建設協会関西支部
- (社) プレキャスト・コンクリート建設業協会関西支部
- (社) 近畿建設業団体協議会
(代表：(社) 大阪建設業協会)
- (社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部
近畿地方整備局

現場に即した「架空線の明示」を確実に実施しましょう

まだまだ暑い日が続きます!!

熱中症に十分注意してください



夏本番です。日中の気温・湿度の上昇や作業環境によっては、熱中症の発症のリスクが高まります。

作業着手前には、当日の気象予報の把握や作業員の体調確認を実施し、また作業中には、作業員同士で気を配り、熱中症の早期発見、対応を行いましょ。

高温多湿な場所、日陰のない場所など、熱中症のリスクの高い作業に従事する場合は、こまめな水分・塩分補給に努めると共に、涼しい場所での適切な休息時間を確保してください。

熱中症は対応が遅れると死に至る場合があります、

発症が疑われた時は速やかに病院へ搬送し、診察を受けるようにしてください。